

平成 2 5 年 9 月 1 3 日 開 会

平成 25 年度第 6 回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第4号 平成25年度9月補正予算案についての市長への意見申出について	補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	承認
報告第5号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について	垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により委嘱したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	承認

平成25年度第6回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成25年9月13日（金）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時40分</p> <p>小会議室</p>	<p>教育委員長 橋口 敬二</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育長 長濱 重光</p>	<p>教育総務課長 川畑 千歳</p> <p>学校教育課長 牧 浩寿</p> <p>社会教育課長 瀬角 龍平</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成25年度第6回教育委員会定例会を開会した。

2 平成25年度第5回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 委員並びに教育長及び課長報告

4 議 事

報告第4号 平成25年度9月補正予算案についての市長への意見申出について
報告第5号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について

5 その他

- ・夏季休業中に実施した主な行事等について

6 閉 会

議事内容等

3 報 告	委員並びに教育長及び課長報告
委員長	教育委員、教育長及び各課長の報告をお願いします。
野村委員	<p>9月9日、新城小学校の教育事務所との計画合同学校訪問に参加した。日常の細部まで行き届いた学校経営努力の跡が示されていた。高いレベルで学校の経営がなされていると思った。特に、児童の学力の定着度には驚いた。特別なやり方があれば、市内の他校にも是非広げて欲しい。</p> <p>8月24日の垂水市民火山フォーラムに参加したが、目前にある関わりの深い桜島について、レベルの高いフォーラムであった。もっと宣伝して良かった。小・中学生にも声かけして、参加してもらえば良かったと思った。</p>
田原委員	<p>新城小学校は地域の実態を活かして学校経営がなされていた。それが一人ひとりの先生にも浸透して、学習指導や生徒指導で成果となって現れていた。学力向上については、野村委員と同感である。</p> <p>8月22日に開催された九州地区市町村教育委員研修大会でのいじめと体罰問題についてのパネルディスカッションで、佐賀県の教育長が先進的な取組を発表された。いじめ問題教職員研修として、弁護士を講師に招いての法的責任、判例の危機管理研修で、時にはこのような取組も良い。また、いじめ問題等発生防止支援委員会を条例で制定し、大学教授、弁護士、精神科医、主任児童委員等が指摘したことを学校に下ろしているということであった。もし、事件を見抜けずこじれそうな時、相談できる弁護士がいる相談窓口があれば良いと思った。長崎県では生徒会がいじめ対策委員会を設置、アンケート調査やポスター制作、いじめ週間の設定など、お金をかけずにできる取組を行っており、参考になった。</p>
中谷委員	<p>8月中旬に、今春、大学生になった息子を持つ母親と話す機会があった。毎日の送迎とお弁当に対して、高校生活最後の日に、「これまでありがとう。明日からはゆっくりと休んで。」と息子に言われた話を聞いた。子どもなりに親の大変さを受け止めて、心から感謝している子どもさんに感心した。</p> <p>今年も、地元小学生と中学生を対象にキャンプを、大学生や社会人をスタッフとして協力をもらい実施した。夜のバーベキューには、公民館長、公民館主事、民生委員も交えて実施した。今後も続けていきたい。</p> <p>8月22日、23日の肝属地区教育委員管外研修に参加して、女性の教育委員と知り合いになり、子ども達のために活動をしていこうと約束した。</p> <p>8月24日、垂水中央中学校南部地区交流会を実施した。中学校は1つに統合されたが、柘原・新城地区の子ども達の頑張りを確認しながらバーベキューを楽しんだ。中央中が地域別にPTAを開催しているが、学校任せでなく、地域のことを自分たちで考えられるようになりたいと話した。その中で、新城小と垂水中央中の行事が数回重なったとの苦情を聞いた。小学校と中学校でしっかり話をされたらと思った。</p> <p>9月9日、新城小学校の学校訪問に参加したが、新城は文化の豊かなところで、米作りやタマネギ作り、カヌーにと豊かな環境で生活されているとの印象がある。ふるさと先生がたくさんおられるし、児童は良く育って</p>

中谷委員	いる。給食の時間、今日転校してきたばかりの児童への子ども達の対応等があっけらかんと自然に接していると感じた。いじめのない学校にもつながっていると思う。これからも先生方に頑張ってと伝えたい。
委員長	新城小の学力向上の取組について評価するが、中1ギャップが心配される児童が見受けられた。卒業まで時間があるので個別指導をし、中学校へ進学させていただきたい。小・中学校の行事が重なったとのことだが、小・中の連携について、教育委員会事務局はどう考えるか。
学校教育課長	行事作成は年度末に調整しているが、年度途中での変更等100%の重複回避は難しい。今後、小・中学校の連携を図り、行事の重複が起こらないよう指導していきたい。
委員長	小・中学校の連携について、行事が重ならないよう最大限の努力をお願いしたい。
教育長	新城小の学力向上の取組については、10月2日開催の市校長研修会においてこれまでの取組を発表してもらい、皆で協議して、その成果を活かしていきたい。複式学級の学校が5校あるので、新城小の良い事例を今後に活かしていきたい。 8月22日、「あつまれわんぱく！夏の勉強会」を初めて実施した。小学生は、60分を4コマという、経験したことのない授業に取り組んでくれた。「算数が良くわかるようになった」「勉強への意欲が出てきた」「先生が優しく教えてくれた」という感想が多かった。また、「来年も参加したい」との意見もあった。 委員の協力のもと、移動教育委員会や地域住民代表者との意見交換会も実施した。教育委員会不要論やあり方が3つ程指摘されてきたと思う。1つは「教委が遠い存在、委員の活動や役割が見えない」との指摘に対して、我々がどう向き合っていくか、この4月から会議の公開と移動教育委員会開催という運用面で応えられたと思っている。2点目の「地域住民の意向が反映されていない」との指摘に対しては、地域住民代表者との意見交換会を実施することで、地域の特色など意見を聴いて、今後、教育施策に活かしていけると言えると思う。3点目の「事務局案の追認機関になっている」との指摘に対しても、4月から委員研究会を開催して、次回以降の議案等を議論するなど、市の取り組みは対外的にも自信を持って言えると感じている。教育長として委員の皆様に感謝している。
委員長	「あつまれわんぱく！夏の勉強会」に対して、他の市町村の教育長から、素晴らしい取組だと評価していただいた。
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	8月10日から9月13日までの主な行事等について報告。 併せて、10月8日までの予定についてお知らせした。
委員長	教育総務課長から報告があったように、来年度、本市で教育振興大会が

委員長	開催されることになった。 垂水吹奏楽団結成について説明していただきたい。
教育長	高校生、保護者、社会人合わせて20余名で結成されたとの報告を受けた。楽器が不足しているので、垂水小や垂水中央中で使わない楽器を貸与していただきたいという話があった。
野村委員	これまで、市民吹奏楽団はなかったのか。
社会教育課長	なかった。
委員長	明るい話題である。
教育長	国民体育大会について、平成24年度に開催種目の希望調べが県からあり、垂水市は本市で盛んな、又、コート8面という開催基準を満たしているソフトテニスを要望した。しかし、観客席が十分に確保できないことから、フェンシング開催について県から打診があったので要望した。理由として、既存の体育館で開催可能であること、室内競技であることから桜島の降灰に左右されないこと、身近で見ることのできないスポーツであり、子ども達に感動を与え、夢を持たせるきっかけにもなり、教育上も効果があること、また、ロンドンオリンピックの太田選手を始め、日本選手団の活躍により銀メダルを獲得した競技であり、市民の関心も高いと思われること等が考えられることから要望したところである。今後、競技連盟が体育館を視察して、来年2月に正式発表されると聞いている。選手・役員、観客を含めて集客は4,000人程度である。誘致できるよう今後も努力していきたい。
4 議 事	報告第4号 平成25年度9月補正予算案についての市長への意見申出について
教育総務課長 社会教育課長 教育長	補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。
委員長	中央中屋外トイレ等新築工事設計委託については、学校の先生の要望も聴いて設計していただきたい。
教育総務課長	学校とは協議を進めてきて、予算上程を行った。今後、具体的な設計に入る。
委員長	他に質疑がないようなので、報告第4号は承認された。
	報告第5号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について
社会教育課長	垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により委嘱したこと、及びその内容について報告した。

委員長	垂水市青少年育成センター協議会他関係6団体会議の合同開催のメリットは何か。それぞれの組織での開催の意義があったと思うが。
社会教育課長	どういう形での会議開催が望ましいか、検証中である。
委員長	出会謝金など財政的にはメリットがあったと思うが、個別開催の意義があったと思っている。垂水市青少年育成センター協議会の会議は開催済みではないか。
教育総務課長	協議会委員の委嘱を会議で議決すべきであったが、垂水市青少年育成センター協議会の会議開催に間に合わなかったことから、教育長の臨時代理により委嘱し、本日の会議で報告するものである。
社会教育課長	青少年関係6団体の委員のうち、垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱のみが議決事項である。
委員長	他に質疑がないようなので、報告第5号は承認された。
5 その他	夏季休業中に実施した主な行事等について
	1 小中教育研究会夏季合同研修会
学校教育課長	7月30日、市民館で開催された、各種教科等に分かれての実践的研修について報告。
	2 子ども理解研修会
学校教育課長	8月2日、市民館で開催された、特別支援教育の視点に立った指導法の工夫・改善を内容とする研修について報告。
	3 あつまれわんぱく！夏の勉強会
学校教育課長	8月22日、垂水中央中学校で開催された、小学校4～6年生を対象とした、算数苦手克服の勉強会について報告。
	4 市標本名付け会
学校教育課長	8月26日、市民館で開催された、貝殻、昆虫、植物、岩石の名付け会について報告。
	5 上海研修
学校教育課長	鹿児島県が実施した上海派遣研修事業に、本市から7月と8月に各1名ずつ参加した小学校教諭の研修結果を報告。
中谷委員	市標本名付け会は天候の影響か、参加者が少なかった。昆虫等は実際に採りに行くような一連の取組なのか。
学校教育課長	7月の標本づくり講習会は、実際にある程度のサンプルを採りに行き、標本の作り方を学ぶ内容である。

中谷委員	子ども達に興味を持たせるように、以前に実施されていた科学探検団のような取組は楽しいと思う。
学校教育課長	検討してみて、実施可能であればそのようにしたい。
野村委員	「あつまれわんぱく！夏の勉強会」のような前例が県内であるか。良い企画であると思う。
教育長	知る限りでは、喜界町が数年前から夏休みに「喜界学」として実施、大崎町は中学校3年生の進学に向けて数日の勉強会を開催している。 今年度の「あつまれわんぱく！夏の勉強会」はゼロ予算で実施したが、来年度は予算化して実施したい。小学校の先生からは2日間あっても良いという声もあった。中学校の先生からは、小学生に教えるのは難しいという意見もあった。
学校教育課長	他の自治体と明確に異なるのは、児童の自己申告による参加である点である。指導法で中学校教師のきめ細やかさが印象的であった。会場も、いずれ進学する垂水中央中を選んだ。
野村委員	小中教育研究会で高校の先生が説明した中身はどのようなものか。
学校教育課長	教委事務局からお願いして、垂水高校の入試結果と現状について説明してもらった。
野村委員	上海研修参加者2人の決定の経緯について伺いたい。
学校教育課長	2人とも自主的に申込みをし、県教委が選定したものである。
委員長	事務局から他に何か発言はないか。
教育長	9月議会の一般質問について、2点報告したい。質問は、「今夏、例年になく降灰が多かったことで、水泳の授業ができなかった学校があったか。又、鹿児島市が整備しているプールクリーナーを垂水市も整備すべきではないか。」との内容であった。振り替えて授業を実施した学校は、垂水小、協和小と松ヶ崎小の3校であった。早速、(公財)日本学校保健会に照会したところ、平成26年度整備について、前向きな考えを伺うことができた。 もう1点は、「垂水中央中と教育旅行生徒との交流をする考えはないか。」との質問については、奈良県生駒市の大瀬中学校が6月に来垂した際、大瀬中学校長から申出があり、今後、両校で話がまとまれば交流が実現すると思われる。
野村委員	奈良県は歴史のある所である。交流が始まれば、修学旅行でこちらから訪問する機会も出てきて、良い形になると思う。
6 閉 会	

